

α リポ酸点滴上の注意点

① 点滴のバッグは遮光する

黒いビニール、あるいはアルミホイルで覆う。

② 生理食塩水を利用する

SH基やジスルフィド結合と反応する溶液は使用しない。

特にがん治療においては、がん細胞に栄養を与えないという

観点から、ブドウ糖を基剤にしない。

ただし低血糖症状を発症するようであれば、ブドウ糖使用も考える。

③ 他のビタミン剤(B・C)を混注しない。

④ 低血糖に注意する。

患者さんの手の届くところにジュースを置く。

アメ、クッキー、チョコレートを用意しておく。

⑤ 初回投与量を150mgとする(150→300→600)

⑥ 血管痛に注意する